

# 東日本大震災 緊急支援合同プロジェクト 「防災缶」へ賛同

～女性が自分らしく過ごすために～

>>>2011.04.19

株式会社アルビオン(東京・中央区、代表取締役社長・小林章一)では、CSR(企業の社会的責任)活動の一環として、立命館大学「歴史都市防災研究センター」にて開発された“美”の「防災缶(避難生活支援キット)」へ物資ご提供をさせていただきました。

東日本大震災から一ヶ月あまり。今後の長期化が予想される避難所や仮設住宅での生活における心のストレスが、被災者の心身の不調につながる事が懸念されます。しかし、阪神淡路大震災の例にあるように、避難生活での被災者のストレスケアは、公的支援の中では後回しにならざるを得ません。

アルビオングループでは、立命館大学「歴史都市防災研究センター」が高知大学の研究チームと共同開発していた「防災缶i BOUSAI (あいぼう)」の4つのコンセプトのうち、「美」の防災缶への物資ご提供させていただきました。

避難生活の中で、少しでも皆様の心の負担を軽減いただき、微力ながら支援につながることを強く願います。

## ■ 概要 ■

### 「防災缶i BOUSAI (あいぼう)」

#### < 「美」のコンセプト >

女性向けの物品を缶詰形式でご提供する“安心缶”。女性が自分らしくいることを支援する。

#### 物流・配分等について

被災地までの物流や、被災者への配分は、京都府や他大学等の公的なルートとともに、民間のボランティア団体、運送会社等との連携で現地へ送付する計画。

#### 提供物

アルビオンをはじめ、海外ブランドを含めた化粧水や美容液などのスキンケア用品やUV下地、ファンデーション等各種サンプルセットやポーチ類。